

「VIRTUAL HOKKAIDO」アプリケーション 利用規約

第1条(本規約の目的)

1.本規約は、公益社団法人北海道観光振興機構（以下「当機構」といいます）が「VIRTUAL HOKKAIDO」アプリ上で提供するサービス(以下「本サービス」といいます)を、ご利用いただく方(以下総称して「利用者」といいます)に適用される利用条件を規定するものです。

第2条(諸規定等)

1.本サービス上で別途定める利用条件、利用方法、ご利用上の注意その他本サービスに関する規定(以下「諸規定等」といいます)は、本規約の一部を構成するものとします。なお、本規約の定めと諸規定等の定めが異なる場合は、諸規定等の定めが優先して適用されるものとします。

第3条(サービスの開始)

1.本サービスの利用希望者(以下「利用希望者」といいます)は、本規約に同意し、これを遵守することを条件として本サービスを利用することができます。なお、利用希望者が「VIRTUAL HOKKAIDO」アプリケーションをインストールし、利用を開始した時点をもって、本規約の内容は、利用希望者により承諾されたものとみなします。

第4条(費用負担)

1.別途当機構の定める場合を除き、利用者は本サービスを無料で利用することができます。
2.前項にかかわらず、本サービスを利用するために必要な端末に関する費用、無線 LAN ルーター等の通信機器に関する費用、およびネットワークサービス提供者との接続その他通信等に関する費用は、利用者が自ら負担するものとします。

第5条(本サービスの一時中断)

1.当機構は、以下のいずれかの事由が生じた場合には、利用者に事前に通知することなく、一時的に本サービスを中断することができるものとします。

- (1) 本サービスの提供に関連する設備等の保守を定期的にはまたは緊急に行う場合
- (2) 火災、停電または天災地変その他不可抗力により本サービスの提供ができなくなった場合
- (3) ネットワークサービス提供者によるサービスが何らかの事情により中断した場合
- (4) その他、管理・運営上または技術上の理由で、当機構が本サービスの一時的な中断が必要と判断した場合

第6条(本サービスの変更・中断・終了・移管)

- 1.当機構は、本サービスの内容の変更、中断、終了等、及び利用条件の変更等(本サービスの保守上、工事上、その他の事情により行うものを含む)を、利用者への事前の通知なく行うことができるものとします。但し、その変更等が本規約または諸規定等の変更を伴う場合は、第7条に従うものとします。
- 2.当機構は、事前に告知または通知することなく、本サービスの全部または一部を終了することができるものとします。
- 3.当機構は、事前に相当の期間をもって本サービス画面もしくはホームページ上へ告知し、または第8条に基づき利用者に事前通知することにより、本規約上の権利および義務の全部または一部を第三者に譲渡し、または承継させることができるものとします。
- 4.前項にかかわらず、事前に告知または通知を行うことが、困難であると当機構が判断した場合には、当機構は本規約上の権利および義務の全部または一部を第三者へ譲渡しまたは承継させることができるものとします。

第7条(本規約等の変更)

- 1.当機構は、あらかじめ利用者の承諾を得ることなく、本サービス画面もしくはホームページ上または第8条に基づき、本規約および諸規定等を変更することができるものとし、利用者は変更された本規約および諸規定等を遵守するものとします。なお、変更の内容は、当機構が定める発効日より効力を有するものとします。ただし、発効日の定めがない場合には、2.本サービス画面もしくはホームページ上で告知がなされた日から1週間経過した日より効力を有するものとします。
- 2.本サービス画面もしくはホームページ上で告知がなされた日から1週間経過した日より効力を有するものとします。
- 3.前項にかかわらず、法令等により、本規約および諸規定等の変更につき、利用者の再承諾が必要な場合、当機構は利用者の再承諾を得るものとします。

第8条(利用者への通知方法)

- 1.当機構は、利用者への本サービスの提供に関して、当機構が利用者へのなんらかの通知が必要であると判断した場合には、本サービス画面もしくはホームページ上への告知により通知できるものとします。

第9条(利用者の責任)

- 1.利用者は、本サービスの利用について、利用者自らの責任で行なうものとします。
- 2.利用者は、本サービスを正常に利用するために必要な端末、無線LANルーター等通信機器、通信回線等の設置、設定、維持・管理について、利用者自らの責任で行なうものとします。
- 3.利用者は、本件登録情報に変更がある場合は、自らの責任において変更するものとします。
- 4.利用者は、本サービスにおいてマイク機能をオンにすることで収集される音声および周囲の音が他の利用者にも配信されること理解し、また他の利用者の音声および周囲の音を受

信することを理解の上、本機能を利用者の責任において利用することとします。

5.利用者は、本規約および諸規定等の定めた利用方法、手続き等に従わない場合、その他自己の責めに帰すべき事由によって、本サービスの全部または一部を利用できないことにつき、一切の責任を負うものとします。

6.利用者は、本サービスの利用に伴って他の利用者あるいは第三者から問合せ、申立等を受け、または紛争が生じた場合は、自己の責任と費用をもってそれを処理解決するものとします。

7.利用者は、本サービスの利用において本規約または諸規定等に違反することにより、当機構、他の利用者または第三者に対して損害を与えた場合、自己の責任と費用をもって当該損害を被った者に対して、賠償責任を負うものとします。

第 10 条(著作権等)

1.本サービスで当機構が提供する情報に係る特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権その他の知的財産権は、当機構または当機構が利用許諾を受けた他の権利保有者に帰属します。

第 11 条(禁止事項)

1.利用者は、本サービスの利用において以下の行為を行わないものとします。

(1) 他人の知的財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等)またはその他の権利を侵害する行為または侵害するおそれのある行為

(2) 他人の財産、プライバシー若しくは肖像権を侵害する行為または侵害するおそれのある行為

(3) その他公序良俗に違反し、または他人の権利を著しく侵害すると当機構が判断する行為

(4) 当機構の本サービスの円滑なる運営を妨げる行為

(5) 本サービスを営利目的として利用する行為

(6) 本サービスにおける他の利用者の使用履歴等のデータを本人の事前の許諾なく不正に収集・使用・利用等する行為

(7) 本サービスに関するプログラム等のリバースエンジニアリング等の解析行為および改造、改変行為

(8) その他当機構が不適切と判断する行為

第 12 条(権利譲渡の禁止)

1.利用者は、利用者としての資格、本サービスを利用する権利その他本規約に基づく権利、義務の全部または一部を第三者に譲渡し、あるいは貸与、売買、名義変更、質権の設定その他の担保に供する等の行為を行うことはできないものとします。

第 13 条(本サービス利用提供の停止または当機構による利用者資格の取消)

1.当機構は、利用者が次のいずれかに該当する場合、当該利用者に対する本サービスの提供を停止し、または利用者資格を取り消すことができるものとします。

- (1) 第 11 条各号に定める禁止事項のいずれかを行ったとき
- (2) 本規約または諸規定等に違反したとき
- (3) その他利用者による本サービスの利用状況が適当でないと当機構が判断したとき

第 14 条(承諾事項)

1.利用者は、本サービスの提供を通じて、当機構が、利用者による本サービスの利用履歴、アクセス履歴等を収集することを、あらかじめ承諾するものとします。

2.当機構は、収集した情報を本サービスの提供・改良、新たなサービスの開発、障害対応に利用できるものとします。

第 15 条(利用契約の解除)

1.利用者は、いつでもアプリケーションを削除することより、本サービスの利用を終了することができます。

2.第 1 項に基づき利用者が本サービスの利用を終了した時点または第 13 条に基づき利用者資格が取り消された時点で、本規約および諸規定等に基づく、利用者との間の本サービスの利用に関する契約は解除されるものとし、以後利用者は、本サービスを利用してはならないものとします。

第 16 条(免責事項)

1.当機構は、第 6 条に基づく本サービスの内容の変更、中断、終了、利用条件の変更、本サービスの全部もしくは一部の終了、当機構による本規約上の権利義務の第三者への譲渡もしくは承継、第 13 条に基づく本サービスの提供停止もしくは利用者資格の取消または第 15 条に基づく利用契約の解除等により、利用者が被った損害、損失、不利益等(以下「損害等」といいます)につき、いかなる責任も負わないものとします。

2.当機構は、第 9 条に関連して利用者の責任においてなされた行為に基づき生じた損害等について、一切責任を負わないものとします。

3.当機構は、利用者が本サービスを利用したことにより生じた結果およびその他何らかの事由により本サービスに起因して生じた問題等について、一切責任を負わないものとします。

4.本サービス画面内に表示される動画等に掲示される当機構以外の事業者による広告に記載された商品・サービス等およびその広告記載の内容に関しては、当機構は責任を負わないものとします。

5.本サービスで端末のマイクを使用して収集された音声及び周囲の音は、他の利用者にも配信されます。当機構はマイクの使用に起因して生じた問題等について、一切責任を負わない

ものとしします。

第 17 条(非保証)

1. 当機構は、本サービスの内容、アプリ内に掲載する動画、その他利用者が本サービスを通じて得る情報について、その正確性、完全性、確実性、有用性等、さらに利用者による本サービス利用の効果等については保証しません。
2. 当機構は、本アプリケーションが利用可能な端末や OS バージョンおよび通信環境等については保証しません。

第 18 条(準拠法)

- 1.本規約の成立、効力、履行および解釈に関しては日本法が適用されるものとしします。

第 19 条(言語)

- 1.本規約の原文は日本語とし、他の言語と内容に相違がある場合は日本語による規約を正とします。

第 20 条(合意管轄)

- 1.利用者および当機構は、本規約に関する一切の紛争について、札幌地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とすることに合意するものとしします。

公益社団法人 北海道観光振興機構

発効日 2023 年 2 月 15 日

個人情報の取扱い

本アプリケーションでは、アプリケーションの機能を実現するために必要な、ユーザーの以下の情報を利用しています:

- ・背面カメラ- AR 機能を実現するために、カメラ映像の画面への表示および床の検出、利用者の手の検出のために利用しています。
- ・前面カメラ- 利用者の表情をアバターに反映させるため、表情の認識のために利用しています。
- ・マイク- マイク機能をオンにすることで、アプリ内の同じルームに入っている他の利用者に音声を配信するために利用しています。
- ・位置情報- AR 機能において、利用者の移動をアバターに反映させるために利用しています。

その他、個人情報は本アプリケーションでは原則収集しませんが、問合せ対応等で個人情報

を収集した場合は北海道観光振興機構プライバシーに関する通知に従って処理されます。利用者が継続的に本サービスを利用し、または通知に同意することは、利用者が北海道観光振興機構プライバシーに関する通知を読み、理解したことへの確認があったとみなすほか、適用される法において利用者の同意が必要な場合およびその同意が厳格に必要な範囲内において利用者の同意があったものとみなします。